

図表1-5-35 ▶ 令和元年東日本台風による被害



出所：内閣府『令和2年版 防災白書』特集 第1章 第1節 1-3 令和元年東日本台風による災害（2020年6月）

### 初動対応と被災者支援

NTT東日本は、台風15号による暴風雨の影響で被害を受けた地域に全国から75台の移動電源車を緊急配備、停電中の通信ビルを非常用電源で稼働させた。これにより、全ビルの通信機能維持が9月13日に達成された。

また、避難所に特設公衆電話を設置するとともに、「光ステーション」(Wi-Fiアクセスポイント)を無料開放し、被災者が緊急連絡や情報収集を行える環境を整えた。さらに、災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板(web171)の運用が開始され、被災者の安否確認が円滑に進められた。

被災者への支援体制も拡充され、NTTドコモは「災害時データ無制限モード」を初めて導入した。災害救助法適用地域の利用者に対して、契約プランのデータ量を超えた場合に速度制限解除を実施するもので、被災者の迅速な連絡手段の確保に貢献した(図表1-5-36)。また、ドコモ光の基本料金無料化や携帯電話修理代金の一部減額、料金支払い期限の延長など、多岐にわたる措置が地域の利用者に対して講じられた。

### 復旧活動の概要

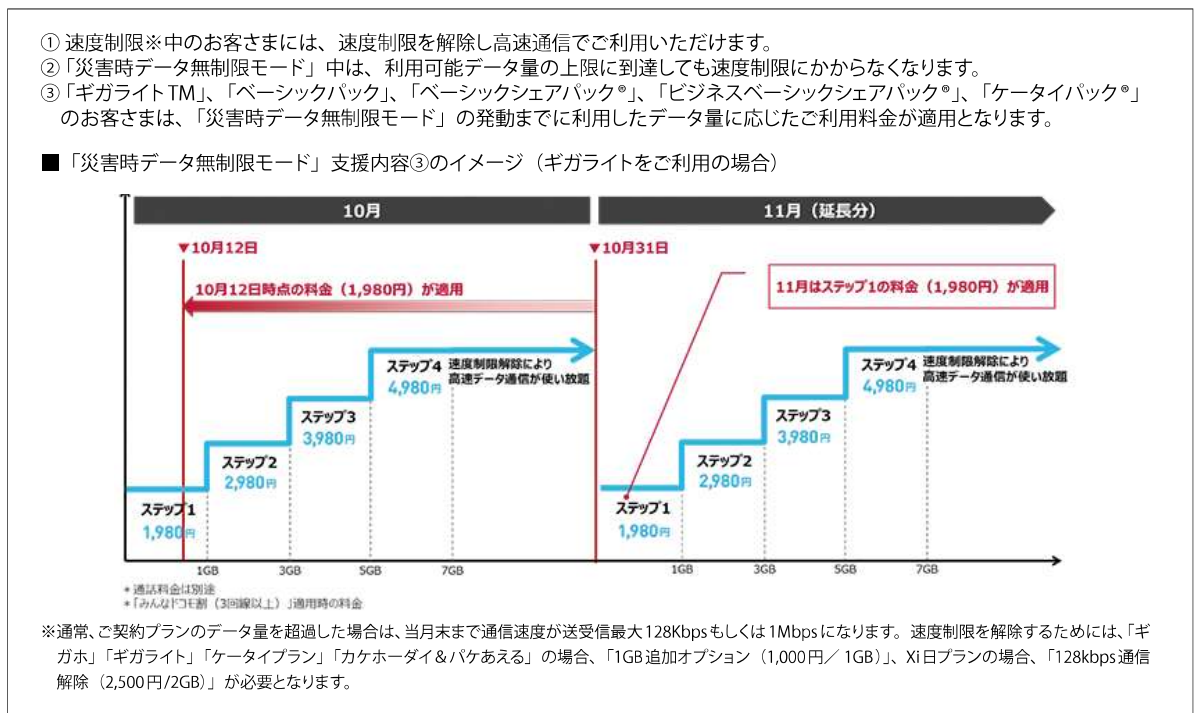
復旧活動では、被害の深刻な地域を優先的に対応する戦略が採られた。台風15号では、千葉県内で倒壊した電柱の復旧や新たな通信ケーブルの張替えが進められ、9月30日時点ですべての工事を完了させた。復旧状況はTwitter等を活用し速やかに情報の提供が行われた。あわせて、設備不良の問い合わせウェブサイトWeb113がスマートフォン対応へとリニューアルされ、故障受付対応の応答率が改善された。

台風19号では、浸水被害を受けた通信ビルで、機器の交換や清掃を迅速に行い、通信サービスの再開が図られると同時に、マイクロ設備等の災害対策機器による重要通信救済も行われた。こうした取り組みもあり、NTT東日本の提供サービスは10月17日に復旧が完了した。

### 教訓と将来への備え

台風15号と19号による被害への対応は、NTTグループにとって、大規模災害対策への取り組みの強化の重要性を

図表1-5-36 ▶ 「災害時データ無制限モード」支援内容



出所：NTTドコモ「お知らせ」台風19号に伴う支援措置について-「災害時データ無制限モード」の期間を延長- (2019年10月29日)